

## 千葉県障害者計画フォーラム（平成 26 年 12 月 23 日）開催報告

### 日時・場所

平成 26 年 12 月 23 日（祝） 13:00～16:10

千葉県教育会館大ホール

### 講演者等

- ・基調講演……………中坪晃一氏
- ・パネルディスカッション…………高梨憲司氏、佐藤彰一氏、川村全氏、田上昌宏氏、  
宮代隆治氏、中坪晃一氏

### 当日来場者数

176 名

（事前申込者数 192 名 | 当日申込者数 11 名）

### アンケート回答者数と内訳

障害当事者 6

当事者家族 39

施設職員 26

行政職員 19

支援団体等 6

その他※ 21

合計 117

（※その他：民生委員、医師、地域相談員、社会福祉士、大学職員、特例子会社担当者、人権擁護委員、特別支援学校教員、市民等）

アンケートの回答内容は別紙のとおり。

### 参考 地域フォーラムの開催概要

地域	日程	担当部会	講演者	来場者
北総	11月7日（金）	就労	内藤 晃氏	35名
葛南	11月14日（金）	権利	佐藤彰一氏	65名
君津	11月19日（水）	精神	富沢正昭氏	68名
山武	11月20日（木）	相談	寺田一郎氏	82名
東葛飾	11月25日（火）	療育	佐藤慎二氏	34名

## 千葉県障害者計画フォーラム アンケート回答一覧

### 障害当事者

1	他方面の障害についての事情を知ることができました。
2	充実したフォーラムに参加できてよかったです。ありがとうございました。
3	役に立つお話が聞けてよかったです。
4	計画の全体が理解できたかと思います。多数の分野について計画されているが、どのように具体的に実現していくかが課題だと思います。
5	有意義でした。

### 当事者家族

1	中坪先生のお話はわかりやすく、心にしみる内容でした。筋ジスの方がサービスを利用して自立した生活が送れているお話は、知的、自閉の我が子も自宅でくらし続けたいとより強く思い、可能になるのかなと希望を持ちました。虐待は皆の責任。親として死ぬまで地域の人をまきこむ努力をしていきたいです。
2	中坪先生の講演は実例に基づき障害施策への深い考えに感銘を受けました。 シンポジウムはそれぞれの分野で活躍されている方々の発言は意味深く考えさせられました。 計画の財源の確保と実行性ある計画と期待しています。
3	・基調講演の内容に共感を覚えました。当事者の思いを汲み取る支援の話、特に良かったです。 ・会場設備で発言の表示パネル設置は分かりやすい理解補助として非常に良かったです。 ・保護者からグループホームへの思い、もう少し中身が濃いものが聞きたかったです。
4	・中坪先生の実際現場を知った上でのお話、親として反省もあり心にしみました。 ・本人の気持ちを考えること、何と難しいことか……。職員の方々にも、ぜひお話を聞いてほしい。 ・周りの皆さんにも、機会を作って中坪先生のお話を聞いてほしいと思っています。 ・地域を住みやすくする努力を、会員の皆とこれからも続けていきたいと思っています。
5	障害のある人がその人らしく暮らせる社会……中坪先生の基調講演がとても勉強になりました。当事者主体、生活の主体者として本人の思いを尊重していくことの大切さを感じました。障害のある人は、できない人ではなく、できない環境や状況におかれているからできないのであって、その人にあった環境を整えればできる姿になっていくこと、人としての尊厳を重視し、必要な支え合いをしながら共に生きる社会の実現への希望を持って、当事者の親として活動していきたいと思いました。
6	なかなか、県の障害者計画を聞く機会がなかったのですが、参加させていただき、よかったです。 中坪先生の講演は、障害者を持つ親として、親の立場を前面に出す部分が多かったが、これからは本人の思いを大切にしていきたいと感じました。 この計画が、お題目だけではなく充実したものになってほしいと思いました。よろしく願いいたします。
7	中身があった。基調講演、パネリストが良い提言を頂きました。
8	とても勉強になりました。パネリストの方の気持ちが伝わってきました。いい方々をパネリストにいただきよかったです。ありがとうございました。
9	パネリストが強く講演(本音)として聞ける場と思った。
10	「袖ヶ浦事件は地域全体の責任である」という佐藤先生の言葉が印象に残った。
11	パネリストの方の熱のこもったお話で、それぞれのお立場からの思いや考え方は十分想像できました。
12	地域で暮らせるのが親ののぞみ。できることなら、そばに老人ホームをつくってもらい行き来してくらしたいと思っていました。でも、いつまでも生きていられないので親離れ、子離れしておかないと子どもがかわいそう。本当に、安心してまかせられる住まいがたくさんできてほしいです。地域の人に障害のこと、わかってもらう場があるといいなと思っています。 パネリストの方の、今日はカラオケ、今日は〇〇、楽しい、その日暮らしはよくないとの指摘を受けて、どうしたらいいのか？と悩みが出ました。「楽しい毎日だけじゃだめなんですよ」。また、だれかに相談しなくては……。
13	理念、理論は誰でも言える、書ける。「予算が足りない」と言わず、とーにかく実現に向かって努力して欲しい。我々も頑張る。※日本の閉鎖社会では 10 人のうち 1 人しか “共生社会” は実感できないであろう！ 9 人は施設を望んでいる。欧米の開かれた社会だからこそ「共生」が実現するのだ！

14	P18(3) 重症心身障害のある人、を項目立てていただいて感謝です。 P18(3) 重症心身障害のある人、については、ここだけ特に記述が薄く残念。「県としては正確な数字を集計していませんが……」とあるが、せめて実態調査くらいはやっていただきたい。どこに、どんな重症児者が何人くらいどうしているのか調査して下さい。他の障害については数値やグラフがある。
15	地域の理解促進を是非やって下さい。そうでなければ共に生きるは絵に描いたままだけになってしまいます。民生委員さんとの話し合いの中で、障害のある人は隠したがるがよく聞きますが、全員がそうではありません。もっと知って下さい。理解を得るのは子ども教育からです。そちらの方にも力を注いでほしい。
16	・これは税金の使い方に直結する内容だとも思う。関係者だけではなく、もっと一般の人が来てくれるよう、早くから日程等を広報すべきだったと思う。また、他のフォーラムの日程をくっつけて参加しやすくしたりしてほしい。 ・P18 の重症心身障害のある人のページが、あまりにも内容が少ない。今後、正確な数字を出し(入所定員や実際の利用人数)のせてほしい。千葉県の数も調査すればわかるのではないかな？ 正確な数字を出すべきだと思う。少なくとも、入所の人は年齢別人数は出せるし、出すべきだと思う。数字もなく計画をたてるのはどうかと思うのが一般人の感覚だと思う。 ・P91 福祉型短期入所事業所の新規開設を支援して下さい。地域生活を支える短期入所は欠かせないものだが、そもそも事業所数が少なく、地域がかたよっている。資金助成ではなく新規開設事務の支援という形で、短期入所を必要としている人が必要なときに使えるよう実施事業所を増やす方向も考えてほしい。 ・P127 松戸圏域の障害児通所支援の利用規模について、他の圏域はすべて増えているし、松戸圏域でも他のサービスは増えているのに、なぜここだけ下回るのか理由を知りたい。何か具体的な要因があるのか？ 松戸以外のすべての障害児通所支援が増える見込みなのに、P35 の重心の子に対応可能な通所施設設置箇所数は 27～29 年度で同数であり、支給を受けても通えない人が出てくると考えられます。数値目標を年に一つでもいいので増やす方向で検討して下さい。「地域移行はグループホーム」のような記述が多く見える。グループホーム以外に在宅、ホームヘルプを受け手の单身生活もあると思う。グループホーム等の等の部分を具体的に書いてほしい。また、それに対する支援も取り組んでほしい。
17	数値目標の中でホームヘルプのサービス見込み目標が H29、1.5 倍と書かれています。紙面だけではなく確実に実行していただきたい。ヘルパーとしての生活面の安定も同じように賃金アップ。私たちの子どもが利用するにはまだまだ十分な利用体制ができていない。
18	質問の時間はもう少しとっていただきたい。当事者の声を行政が生で聞く、数少ない機会なはずです。
19	会場とのやりとりを多くとれるように願いたい。 地域とのやりとりが必要なので、自治会役員がこのようなフォーラム、セミナーに参加、又はそのような方の会にこちらから参加する必要があると思う。
20	大事な集会であった。発言の個々に意味があった。会場の意見の時間がなかったのが残念であった。
21	第五次千葉県障害者計画が H27～29 年の 3 カ年の計画であることが、どのように第四次を見直して新しく作成されるのか。時代(社会情勢)の変化の中で、興味・関心を持っている。 特に、精神障害者のグループホーム生活について、病床転換型地域生活の課題は、当県では実施しないことをお願いします。また、障害理解が一般に困難な現実の問題は、支援教育に取り入れていく必要があるとかながね痛感しています。
22	パーソナルサポーターの重要性がよく分かった。先進の福祉国ではパーソナルサポーター制が確立している。何とか導入してほしいものです。
23	いつも計画が出されこれができるかと思いつつながら、予算の問題、従事する職員の問題(質、不足)に疑問を持ちます。3 カ年計画の中で進む部分もあるけれどほとんどが(実現が向かない)棚ボタとの感じしかありません。これでも少しでも進むことができればいいのでしょうか。シンポジウムにおいてはいつも前向きな貴重な意見で参考になりました。シンポジストのメンバーはこの上ない人材ですばらしいと思う。
24	(1)本日の説明で概要についてはわかったが、詳細については資料をよく見させていただく。 (2)計画の目標値の根拠が明確でないのが残念です。 (3)地域への押しつけが多々見られる。地域への PR をどうするのか！ 個々では不可能である。
25	障害に対する見方を深めることができた。
26	実際の体験に基づいた講演でわかりやすかった。
27	大変、それぞれ参考になりました。
28	途中からの参加でしたが参加しての課題が見えてきました。参加してよかったと思います。

29	関心のある話(グループホームや地域等)が話題となつてとてもよかった。
30	「地域で共に生きる」「ありのままの自分で暮らす」という流れに向かっているのでしょうか、「それでも施設で暮らしていく」の選択肢しかない人もいるわけで、移行に関してはきめ細かいフォローを望みます。他の(精神)障害を持つご家族のご苦勞、きびしい現実も知ることができました。当事者、関係者以外の啓発も大切という御意見、もつともだと思いました。それには、低学年からの教育現場での「対弱者教育」の実施が初めの一歩なのかと思っています。
31	予算がとても気がかり！ 計画各項目の担当課・関係課を明記した方がいい
32	計画は国よりの数値を追うための計画ではなく、真に障害者・その方を取りまく人々のものであってほしい。
33	前の講演が「知的」中心で時間ももったいない
34	高齢障害者の行く末について何かヒントをとっていたが期待はずれでした。
35	シンポジウム……時間が不足し、議論不十分である。
36	千葉の条例は全国で一番にできあがりました。でも浸透していません。五次計画がぜひこのとおり、またはもつと先へ進んでほしいと思います。いつも期待を持って見つめています。重たい文字ばかりの計画書の行間にある不自由な暮らしにも目を向けて下さい。障害を持って生まれた人たちはやはり「平和」を望んでいます。日本一平和な千葉にして下さい。 「計画」づくりに専門家が沢山かかわっていらつしゃいます。でも市民、県民は大多数が普通の人。専門家が立派に作った計画はなかなか県民に伝わらないと思います。私は普通の立場で障害者の母親ですが、ある市民のコーラス団体の催しに声をかけられ、「障害者の置かれた立場、袖ヶ浦事件、選挙権の問題、成年後見制度利用を迫られる障害のある人」の話をさせていただきました。かなりの数の方から反応をいただきました。親たちの力もぜひ活用して下さい。偏見をなくす条例や法律をバックアップにして、親たちが活動できるように計画の中に入れて下さい！
37	障害者の家族は大変な思いをしております。家族のケアが大切だと思います。
38	障害者計画で一年ごとの状況を知らせてゆくとのことはお願ひしたい。計画倒れではなく、実行を望みます。
39	精神障害者の地域移行はとてもむずかしいと思っている。本人、家族、地域の理解、まずは精神障害者への理解が深まるような周知、広報が必要だと思う。

## 施設職員

1	様々な分野の課題について知ることができた。
2	中坪先生の講演、支援する側として考えさせられる講演だったと思います。障害にとらわれず支援の内容を再度考え、よりよいサービスの提供に取り組んでいきたいと思いました。
3	利用者の方の実名を出し、そのときの様子等をからめてお話を下さり、とてもわかりやすく身近に感じることができました。また、先生方の考えを聞くことができ、勉強になり考えさせられました。日頃の支援を見直し、利用されている方に充実した日を過ごしていただけるよう努めていきたいと思っています。
4	中坪先生は、具体的事例を提示しての話の展開が明解でした。シンポジウムは、個々の専門分野においてのトークで興味深く聞けました。特に佐藤氏の発言は迫力があり人権を守る強いメッセージが表出されていたと思います。宮代氏の発言で地域移行の未来を感じ、大変よかったです。
5	よいフォーラムの内容でした。地域に関心を持ってもらうために何ができるか考えてみたいと思います。
6	色々な話が聞けて大変よい勉強になりました。
7	いろんな立場の方の意見が聞けてよかった。
8	とてもよかったです。今後に生かしていきたいと思っています。
9	基調講演では、出会われたお一人お一人の姿から感じられたことをくわしくお伝えして下さり、考えさせられる内容でした。どのようにサポートしていくか、大切なものを教えていただきました。後半のシンポジウムも、立場の違う方々からお話をいただき、分かりやすかったです。
10	パネリストがバラエティに富んでいてよかったが、話の焦点が定まっていなかった。パネリスト同士の意思交換がもつとあつてもよかったと思う。
11	シンポジウムで様々な関係者の声を聞くことができ勉強になりました。 実現性、実行性という言葉が出ましたが、プランの進捗の確認が大切だと思います。
12	最後に家族会の方々の質問がありましたが、精神障害の問題に切り込んでいただければと思います。 長期入院や退院促進が進まないことに関する民間精神科病院の問題。病床転換型居住軽施設の問題を正面から議論すべきであると考えます。

13	<p>地域における障害者の雇用、受入れが進まない。原因、根本が理解されるための包括的な視点を広げていきたい。</p> <p>家族、医療との連携を重くしてほしい。より、悩みを理解してほしい。</p>
14	<p>・高齢期の支援は国が検討するとされながらも、具体的なものは示されていません。しかし、高齢化は直面していることであり、医療機関との関係がうまくいかないなど、施設が抱え込んでいる状況があります。職員のメンタルや身体的負担も増大しています。是非、県としてモデル事業を行っていただき、全国に先駆けてほしいと思います。</p> <p>・障害者の理解について、県教育長と連携し、身近に障害のある人がいる、それが当たり前のような体制を作ってほしいと思います。計画内に示されていることもありますが、実現に向けてお願いします。</p>
15	<p>・様々な施策がある中で、国、県として方向性があるものの、短期では実行不可能、可能であるものが複雑に絡み合っていると感じました。</p> <p>・本質である障害者も人間らしく生きると言うことを忘れずにしていきたいと思いました。</p> <p>・又、権利が強くなっていく中で、義務や責任の話が少し抜けていたように感じます。</p>
16	<p>五次計画の素案……まだ市町村間が格差がある相談支援の充実→介護ケアプランより時間がかかる計画相談の費用を考慮してほしい</p> <p>グループホーム……地域移行と言っておきながら、地域とは何ですか？ 一般の家庭と同じように生活をと考えるならば、そんなに規制をしては作れないし、引いてしまうと思う。また、地域移行(グループホーム)は入所施設からだけではない。一生懸命介護されている家庭から利用者本人が自立するという意味もあるのではないかと考えています。</p>
17	<p>グループホームや計画相談のこと、とても重要視しなければならないと思います。しかしその前にそれを支える人材がないということも重要視してほしいと思います。年々、福祉業界における人が減ってきて、なかなか育たないことが多いです。ヘルパーを増やすこと、若い人の人材の確保を考えてほしいと思います。</p>
18	<p>地域の活動の重要性を認識できた</p>
19	<p>自分で選べる、自分で決められる。本人だけではなく家族ともつながる。当事者がいける学校、施設作りも大切だが、差別しない思考、特別視しない姿勢、目を育てる教育、取組が、これから先を支えるため重要。目に見えない障害への取り組みが遅れている。認知症に対しても、足が……で「ハイ、介護度 3」とかなるが、認知症の人がたまたま認定の時クリアーなら「1 ですね」。現場のことが分かっていない。どっちがどれだけ人手取られるか。</p>
20	<p>・誰もが暮らしやすい障害があるない地域に社会参加につなげるは支援する、されるではいけないと常々思っています。</p> <p>・これからの社会思い軽いの対応では計画につながらないと思う。</p> <p>・もっと差別に対して質を。障害の区分を分けて行く必要を感じる。</p> <p>・先、将来を考えていかなければと思う。障害続く。</p> <p>・支援に関わる物は障害を理解しないといけない！ 不足している。</p> <p>本日参加してよかったです。内容。虐待あってはいけない！ 本人の側に常に立つ、が必要。性と思っている。家族は困っています。先生方の話し分かりやすかった。現実に向けて関わる物をして努めて行くよう日々できることに努力していきます。ありがとうございました。</p>
21	<p>高齢化する障害者の対策が盛り込まれていないように見え、残念</p>
22	<p>知的以外ですすでに地域生活している方には物足りなかったのでは？</p> <p>個人的に、保護者の立場である方がグループホーム立ち上げに際する苦労を分かっていたいただいていることが嬉しかった。</p>
23	<p>今後、千葉県がどのように障害福祉政策を展開していこうと考えているのか、概論の部分が分かって良かった。</p>
24	<p>第四次計画の多くの数値目標が達成されていますが、一方で障害福祉を支える職員の体制はどのように評価され、どのように充実が達成されているのか、これからの論点ではないかと考えます。勉強になりました。最後のフロアからの「保護者の心のケア」、本当にそのように思いますし、事業者として今もっとも大事にすべきことと思います。</p>

## 行政職員

1	今日、様々な意見が出て、課題を整理し、計画に反映させてもらいたい。
2	多様な立場から多岐にわたるご意見、ご提言をいただき、大変参考になりました。ありがとうございました。
3	今計画に様々な立場の方が様々な想いを込めた計画であることを感じました。行政として、それらの想いを託される側と気が引き締まる想いです。絵に描くだけでなく実践に移せるよう、市民、当事者、##、進捗を求められているという想いを背負って策定、実践していきたいと考える。
4	講演は事例も交えながら大変参考になった。本市でも残念ながら行っている事例も見られ、気をつけなければならないと思う。第五次計画について、今後の参考になった。
5	いろんな方の意見が聞けてよかったです。非常に分かりやすかったと思います。
6	障害に対して、5つの分野から具体的なお話が聞けました。佐藤氏の地域住民の理解が不十分だから共生が難しいのだという言葉が印象に残りました。
7	仕事を通して知っている障害福祉の世界が狭いのがよく分かりました。もっと現場を知りたいと思いました。
8	・課題が明確になりましたので、計画に取り入れていただきたい。フォーラム＝パブリックコメントだと感じました。 ・計画の実現に向かって、差別条例の周知に力を入れていきたい。
9	地域移行にあたって、グループホームのあり方について参考になりました。
10	県障害者計画に携わった方々の生の声を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。パネリストに女性の方がいらしゃると、よりよいバランスの取れたものになったのではないかと思います。質疑応答の時間を十分確保できるとよかったですと思います。
11	佐藤先生の「見捨てられた」という表現は的確であろう。家族が抱え込むか、家族が放り出すか、という道しかない。見捨てられていれば地域で生きる道はないだろう。一人ひとりの人を見捨てないことが、もっともと考えられるべきであろう。答えは出ないかも知れないが、どこかで考えていかねばならないのではないかな。
12	フォーラムそのものは分かりやすくて良かったと思います。特に説明に計画のページが書いてあるのが分かりやすかったです。ただし、精神障害者の医療費制度について、自立支援医療はあるとはいえ、助成制度は必要だと思われます。せめて1級の人だけでなく、重度心身障害者医療費制度に含めてもらいたいと思います。また、現物給付化を進めるにあたり、他県に行っても同様に医療券が使えるようにしていただきたい。
13	・グループホームを作るにあたっての県の役割、地域住民への対応等を考えているのか？(理解してもらう為に何か考えているのか？) ・グループホーム支援員に対する教育はどうなっているか？ ・支援員が生活できる十分な給料を考えないと、いい支援が得られないと思う。
14	病棟転換型居住系施設は認めるべきではない。

## 支援団体等

1	中坪先生の体験し、支援方法、現時点でできる案内の講演を聴いてみたい。
2	パネリスト先生方の熱い思いが伝わりました。誰もが介護を受ける時期が来るのですから無関心ではられません。
3	中坪先生のお話はとても分かりやすく明瞭でよかったです。シンポジウム、佐藤先生の発言(訴え)は心に響きました。袖ヶ浦事件、自分事として考える、本当だなと考えました。会場の意見、どの意見ももっとも、切実な意見だと納得。こういう意見に応える計画であってほしいです。
4	現在、民生・児童委員として活動をさせていただいていますが、一層努力する機会となりました。特に「当たり前前に地域で生活できる」への支援を実践していきます。また、「普通に日常生活ができる」支援が重要であると感じました。本日はありがとうございました。
5	一般の方にもっと聞いてほしい。毎日の生活を大切にしていくこと、みんなで一緒に考えていくことが当たり前になってほしいと思っています。中坪先生とても上手でした。パネリストの先生方もありがとうございました。
6	立派な計画書、実現のための役割分担、実働部隊の育成、組織化?? 地域の高齢化が進行中で仕事の「ボランティア」だのみの限界に対する認識? 対策は? われわれはどこにSOSを発信すればいいのか?

## その他

1	シンポジウム、パネラーの方々の熱い思いが伝わりました。当事者でもある方のパネラーの方の意見をもっと多くの方が知る必要がある。質問の方のお話も拍手がある。家族、地域の理解、やはり精神障害の方の地域への移行、難しいと思いました。(民生委員)
2	県の障害者計画を具体的に住んでいる市は実行していると思えない。地域でその人らしく暮らすには行政がもう少し地域住民との働きかけが必要だと思う。住んでいる住民は、重度の障害のある人と、どう接し、サポートしたらよいか。教えてください。(民生委員)
3	非常に難しいと思っているが、障害者個々人の年齢や障害の部位、程度によって、その人物に即した支援が必要であり、人間としての暮らしができるようにすべきこと。(中坪会長の熱のある講演に感動しました。一市民として何かに役立ちたい、実践したい) 地域に密着した障害者の生活のあるべき事を考えたい。(民生委員の家族)
4	「地域で共生する社会」の実現に向けて、まだまだ課題が大きく困難があることも考えさせられました。(人権擁護委員)
5	「地域移行」の現実について、本音レベルの話が聞けてよかった。(地域相談員)
6	基調講演は大変素晴らしいものだった。計画概要説明は、聴衆の方々は説明を聞かなくても資料を見るだけで十分御理解になるのではないかと思います。問題点等焦点をしぼって御説明いただいた方がよいように思う。シンポは内容豊富で聞きがいがあった。開場からの質問時間をもっと多く取る工夫がほしかった。(社会福祉士)
7	高齢社会の中での障害者問題を実感しました。拡大する課題に質的にどう応えていくか？ 考え、行動したいと思います。(大学職員)
8	障害者また家族をとりまく問題、状況が分かりましたが、地域住民を巻き込んで、いろいろな問題に取り組んでいく必要があるようです。もっと関係者以外の方々にこのようなフォーラムに参加してほしいと思いました。(特例子会社スタッフ)
9	障害のある人の環境や状況を考える。不利な状況や環境を取り除く、個人の属性を理解し、一般的に「働くこと」への意向を尊重していくよう思った。サービス利用計画は第三者的に相談支援事業を考える。見えにくい事業所からはなす！考えますね。(障害雇用担当職員)
10	・中坪先生の講演では、卒業生などの実例をいくつか取り上げてのお話で、とてもわかりやすくまた気の引き締まる想いで聞かせていただきました。 ・シンポジウムでは、他方面の先生方から話が聞けてとてもよい機会となりました。学校卒業後の暮らしについて、深く考え意識することができました。今後の教育活動で念頭に置きながら生かしていきたいと思います。ありがとうございました。(特別支援学校教員)
11	中坪学長の御講演に感動しました。(医師)
12	共生社会という言葉に絵に描いた餅にはしたくない。世界に笑われるようなことをしている現実だが、日本の国民すべてに浸透していきたい理念でもある。こつこつと進めていきたい。中坪先生のお力も大きいなあ、パネリストの方々もとてもよかったです。ありがとうございました。
13	参加できてよかったです。どなたのお話も拍手です。何となく元気が出て、自分も頑張らねばという思いになりました。(責任ある地域住民として)絵に描いた餅にならないためにも。ありがとうございました。
14	障害者が地域で共に暮らす、の理念を理解した。これを実行・実現して行くにはやはり短い時間ではなく長い時間を考えてよいと思う。色々な現実が分かったフォーラムであった。
15	知的障害のある方と共に作業をしています。少しでも就労が長く続き、社員さんの力が伸びるようにと思ってサポートをしていますが、「これでよいのか」と思いながら仕事をしています。本日のフォーラムに参加して、難しい問題があり、大変ですが、自分ができることで応援したいと思います。私がかかわっている方はグループホームから通勤してきています。今のところは楽しく通っています。皆様ご苦勞様でした。
16	知的障害者をサポートする仕事をしています。中にはグループホームで生活している人もいます。一人ひとりの個性を大事にしながら、その人にとってよりよい職場での成長ができるように努力してまいりたいと思っています。
17	パネリストの方々の御指摘はとてもの確だと思えます。これからしっかり素案を読み込みたいと思います。

※感想欄に記述がなかった回答用紙があるため、参加者属性ごとの人数と回答件数が一致しないことがあります。